

公務員の賃金

現状と問題点

早川征一郎（はやかわ・せいいちろう） 法政大学名誉教授
盛永雅則（もりなが・まさのり） 日本国家公務員労働組合連合会常任顧問
松尾孝一（まつお・こういち） 青山学院大学教授
西口 想（にしぐち・そう） 日本国家公務員労働組合連合会

旬報社

2015年12月25日

A5判（224p）

本体2,000（+税）



皆 様 へ

拝 啓

何かとせわしい年の暮れですが、お元気でご活躍のことと思います。国内外とも「多難」であった一年ですが、新しい年が、“平和と民主主義”への一層の前進の年になることを蘇っております。

さて、このたび、編著書『公務員の賃金』（旬報社、2015年12月25日刊）が出版されました。公務員賃金のあり方は、その性質上、時々の「国策」と関わりのある分野ですが、昨今の公務員賃金をめぐる問題状況について、現状批判の立場からまとめたものです。

この書は、私にとっては、早川征一郎・松井朗共著『公務員の賃金』（労働旬報社、1979年）の、36年後の「新版」に当たる書でもあります。そのどちらの書も、研究者と公務労働組合運動に携わる運動家とのコラボレーションによるものです。「新版」には、研究の世代継承の意味も含まれています。

この書を大学院入学以来、ほぼ半世紀（49年間）にわたる私の研究者生活において、何かとお世話になってきた皆様へ、ささやかながら「お歳暮」（？）代わりに寄贈させていただきたいです。

なにとぞ、時間のある折に、気楽にご覧いただければ幸いです。

暖冬とはいっても、やはり寒い時節柄、なにとぞご自愛のほど、心よりお祈り申し上げます。

敬 具

2015年12月

早川 征一郎

はしがき

本書の目次構成は、次のとおりである。

序章 公務員賃金とは何か	早川 征一郎
第1章 公務員賃金決定と人事院勧告制度	早川 征一郎
第2章 人事院勧告制度下の公務員賃金決定	早川 征一郎
第3章 国家公務員賃金の現状と問題点	
1 給与構造改革と給与制度の総合的見直し	盛永 雅則
2 変貌する公務員給与制度—現行給与制度の問題点	盛永 雅則
3 人事評価の現状と課題	西口 想
4 非正規国家公務員の現状と賃金	早川 征一郎
第4章 地方公務員の賃金	松尾 孝一
第5章 公務員賃金決定の社会・経済的影響	
1 公務員賃金決定の社会的影響	早川 征一郎
2 公務員賃金決定の経済的影響	盛永 雅則
終章 公務員賃金決定と労働基本権	早川 征一郎